

白浜レスキューネットワーク通信 10月号

〒649-2211 和歌山県西牟婁郡白浜町 3137-8

TEL&FAX0739-43-8981

http://srnw.or.jp

e-mail yabiumi@gmail.com

理事長 藤藪庸一

郵便振替 00920-6-85589 口座名：白浜レスキューネットワーク
 紀陽銀行白浜支店普通預金 589389 口座名：NPO特定非営利活動法人
 白浜レスキューネットワーク

自殺者救済活動

10月1日～10月31日

電話件数 222件

メール相談 4人

保護件数 6件(男性3名、女性3名)

帰宅件数 2件(男性1名、女性1名)

○3日、女性を保護。しばらく滞在することになった。

○9日、女性を保護。近くにアパートを借りて、当NPOの共同生活に加わった。

○10日、DVで悩む女性を保護。その日のうちに帰った。

○17日、若い男性を保護。その日のうちに帰った。

○17日、男性を保護。21日、以前勤めていた派遣会社の面接に出かけた。そのまま帰ってこず、28日、実家で頑張っていると連絡が入った。

○26日、警察からの依頼で、男性を保護。29日、出てきたアパートへ荷物を取りに行った。家族とも連絡が取れ一安心。話し合いの結果、白浜でやり直していくことになった。

生活自立支援活動

10月1日～10月31日

滞在者数 14人(男性10人、女性4人)

自立件数 2件(男性2名)

○1日、男性がグループホームへと移った。移った後も、バイオリンの練習に毎週木曜日の夜に来ている。

○2日、栃木から男性が共同生活に加わった。スタッフとして関わってもらいながら、自身の課題に取り組むことに。

○3日に保護した女性は、9月初旬に一度家に戻った女性だ。戻ってしばらくは平和に暮らす

ことができたが、長くは続かなかった。再度助けを求めることができたことが良かった。

○9日に保護した女性は、80代の女性。一人で生きていく自信がなくなり、助けてくれるところを探したようだ。うちでご飯を食べながら、共同生活の中で人生を全うできたらと思う。

○26日に保護した男性は、これまで長く仕事が続いたことがなく、生きていく自信がないという。家族との関係は決して悪くない。父親と姉に連絡を入れた際、急いで白浜へ来てくれた。家族で話をする様子も至って普通だった。白浜で生きる自信をつけていくことになった。

○コンビニとまちなかキッチンで働く20代女性は、仕事はきっちりできる。ミスが少なく能力は決して低くない。夜、中高生のテスト勉強をする夜コペで、マンツーマンで生徒たちの勉強を見ることが始まった。

○デイサービスに週3回行き、ヘルパーがほぼ毎日入っている80歳の男性は、9日に保護した女性と、何度かぶつかった。しかし、感情的になる女性に対し、冷静に対応していた。

○バスの運転手を目指すと思った男性は、21日、見事に念願の就職を決めた。男性は、さっそく、アパートを探し始め、お世話になったファミマにも退職願を出し、新生活を送る準備を始めた。しかし、どこか不安が残るので、しっかり給料がもらえるようになってからでも引っ越しはできると説得。落ち着いて一つ一つ進めていくことになった。

○糖尿病を患っている男性は、就職活動を始めると、書類選考で落ち、面接に至らない。年齢的に正社員はあり得ないのではないかと思うが、工場勤務で正社員への登用が見込めるものを探しているようだ。

○豆腐屋とまちなかキッチンと新聞夕刊配達と3つ掛け持ちしている男性は、1日アパート契約。17日にアパートへ引っ越した。

○まちなかキッチンとホテルでの仕事を両立させたいと思っていた男性は、なかなか就職活動が思うように進まない。腐らず続けて欲しい。

○言葉に気を付けている男性は、随分と周りが見えるようになっただけではなく、物事に対する焦点もあってきた。

○まちなかキッチン総菜部門での仕事を始めた女性は、心の状態は一進一退を続けている。人との関わりの中では笑顔があったりするが、一人になると落ち込むようだ。

○7月初めから共同生活に加わっている男性は、まちなかキッチンでの一時間で済む仕事を任せ始めた。洗い物や配達だ。少しずつ広げて行けたらと思っている。空き時間には必ず掃除や片付け、草引きなどを行っている。

○8月5日に保護した一人の男性は、2日就職が決まった。4日から働き始めた。

○5月から滞在している男性は、脳神経外科を受診。様子を見ながら闘病生活を続けている。

○17日、自立して当NPOを支援してくれていた男性が心筋梗塞で倒れた救急で運ばれた。なんとか一命は取り止め、入院することになった。

○23日、以前自立した男性が、関東の方から遊びに来てくれた。白浜で自立している男性宅に滞在しながら、交わりの時を過ごした。現在明媚会社に勤務し、現場から内勤に変わったとのこと。

ちょうど、はじめ人間自然塾の開催日と重なったため、ボランティアとして参加してもらった。

自殺予防活動

・相談電話

2日、9日、16日、23日、30日に行なった。今月も1人の相談員が休まず電話相談にあたった。

・フードバンク、フードドライブ

地域のグルメシティ各店から食材の提供を受ける。

近所の女性への週3回の無料弁当の配布は、女性に収入が入ったため終了した。

母、息子の二人家族の家に食料を定期的に届けている。

・はじめ人間自然塾



10月26日、秘密基地づくりと、飯盒でご飯を炊いて、カレーを作って楽しみました。

・CSコペルくん

西富田小学校の子どもたちを誘い始めた。少しずつ増えてくることを願っている。

・和歌山県自殺対策有識者会議第一回目

10月29日に開催された。

・講演

- ・13日公文交流会で講演
- ・15日白浜町人権講演会
- ・19日和歌山いのちの電話協会で講演
- ・21日和歌山県立医大看護学科で講演
- ・23日白浜警察で講演
- ・24日淀川キリスト教病院で講演